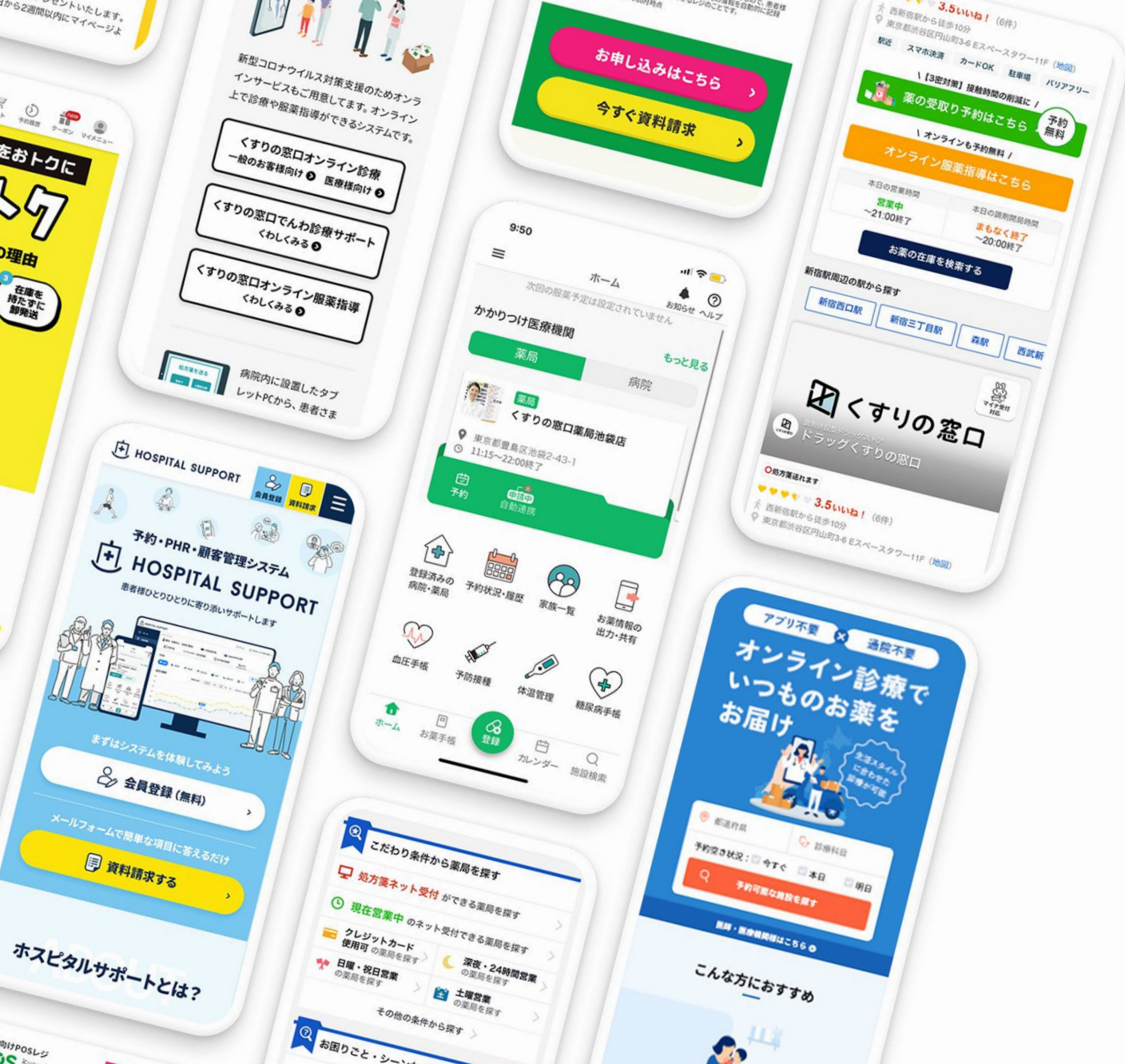




2026年2月13日

2026年3月期第3四半期 決算説明資料

株式会社くすりの窓口 証券コード：5592



目次

1. 2026年3月期第3四半期累計 連結決算概要

2. 2026年3月期第3四半期 業績報告

3. 事業内容と業績

メディア事業

みんなのお薬箱事業

基幹システム事業

未病予防事業

4. 2026年3月期 業績見通し

5. 中期経営計画

2026年3月期第3四半期累計 連結決算概要

2026年3月期第3四半期累計 連結決算概要

2026年3月期
第3四半期累計

当期の連結売上高は、メディア事業とみんなのお薬箱事業の売上高およびストック粗利が着実に積み上がった結果、増収増益となりました。

連結売上高
89.2億円
前期比 **+6%**

連結営業利益
20.1億円
前期比 **+30%**

ストック粗利
25.3億円
前期比 **+21%**

メディア事業

ショット売上高は、前期の特需の反動で減少しましたが、施設保有数の増加と処方箋ネット受付数が増加したことでストック売上が伸長し、増収増益となりました。また、700万累計DL数を突破したEPARお薬手帳からの処方箋ネット受付数も増加しました。

売上高
34.7億円
前期比 **+7%**

ストック粗利
11.7億円
前期比 **+38%**

みんなのお薬箱
事業

不動産サービスは引き続き好調を維持していることと、仕入れサポートサービスの顧客の獲得が順調に推移し始めたため、ショット売上が伸長し、増収増益となりました。

売上高
26.5億円
前期比 **+14%**

ストック粗利
11.3億円
前期比 **+18%**

基幹システム
事業

前年同期の補助金交付対象のサービス需要が一巡した反動によるショット売上の減少を、ストック売上ではカバーできなかったことに加え、新商品の先行投資によるストック原価の上昇もあり、減収減益となりました。

売上高
25.8億円
前期比 **△5%**

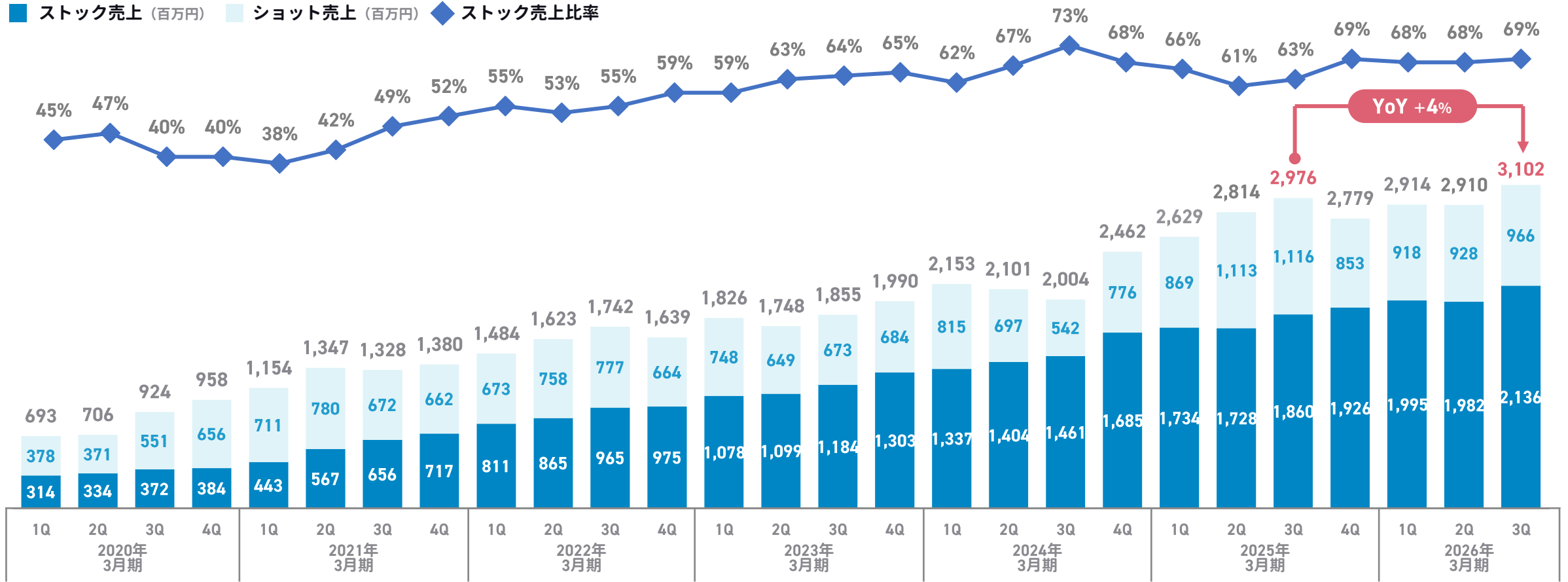
ストック粗利
3.6億円
前期比 **△16%**

※当社は単一セグメントのため各事業の売上とストック粗利を重要指数としております。

2026年3月期第3四半期 業績報告

連結売上高

前期は診療・調剤報酬改定の年度であり、報酬の加算対象や補助金対象のサービス特需が一巡したことでショット売上は減少しました。一方、ストック売上は安定成長のメディア事業と顧客の獲得が順調に推移し始めたみんなのお薬箱事業が牽引し、四半期過去最高となりました。また、安定した収益基盤に向けストック売上比率も向上しております。



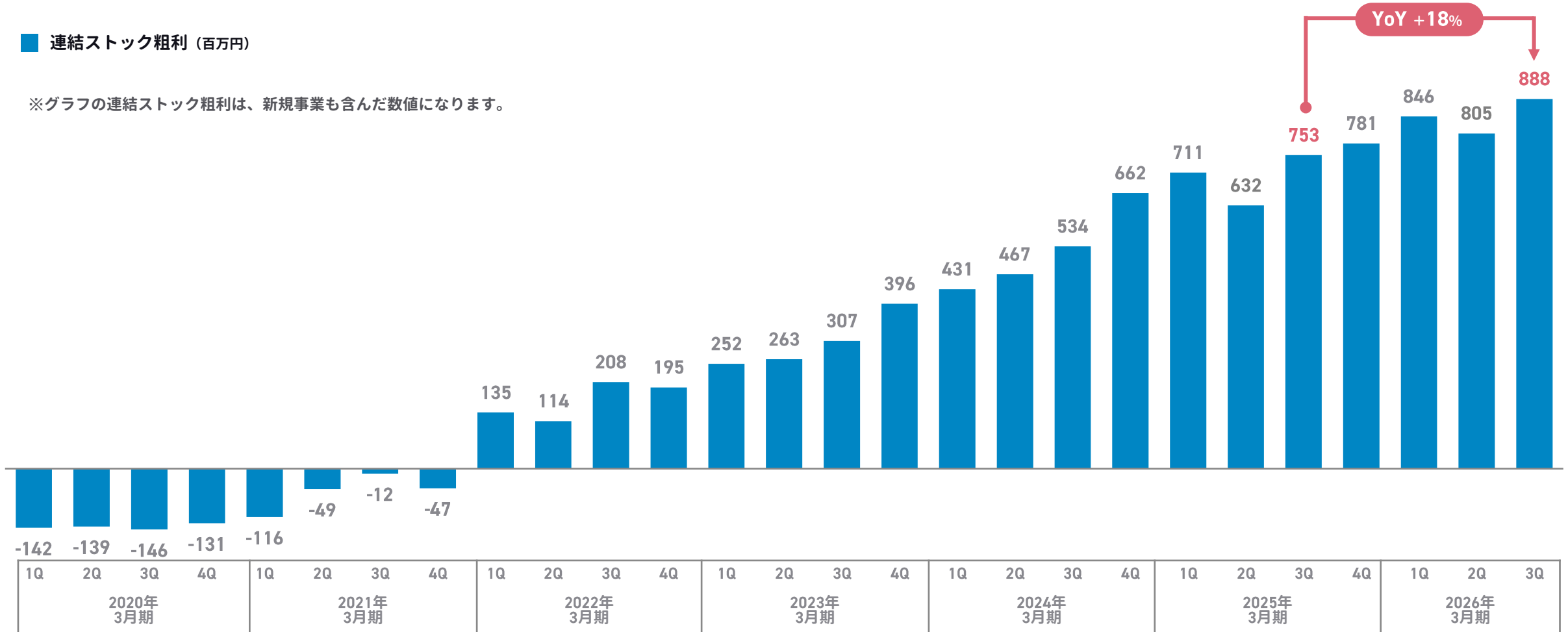
連結ストック粗利

メディア事業とみんなのお薬箱事業のストック売上が好調に推移したため、四半期過去最高益を更新しました。

※ストック売上・原価の定義を変更したことから、2025年3月期第1四半期まで遡ってストック粗利を修正しております。

■ 連結ストック粗利 (百万円)

※グラフの連結ストック粗利は、新規事業も含んだ数値になります。



連結営業利益

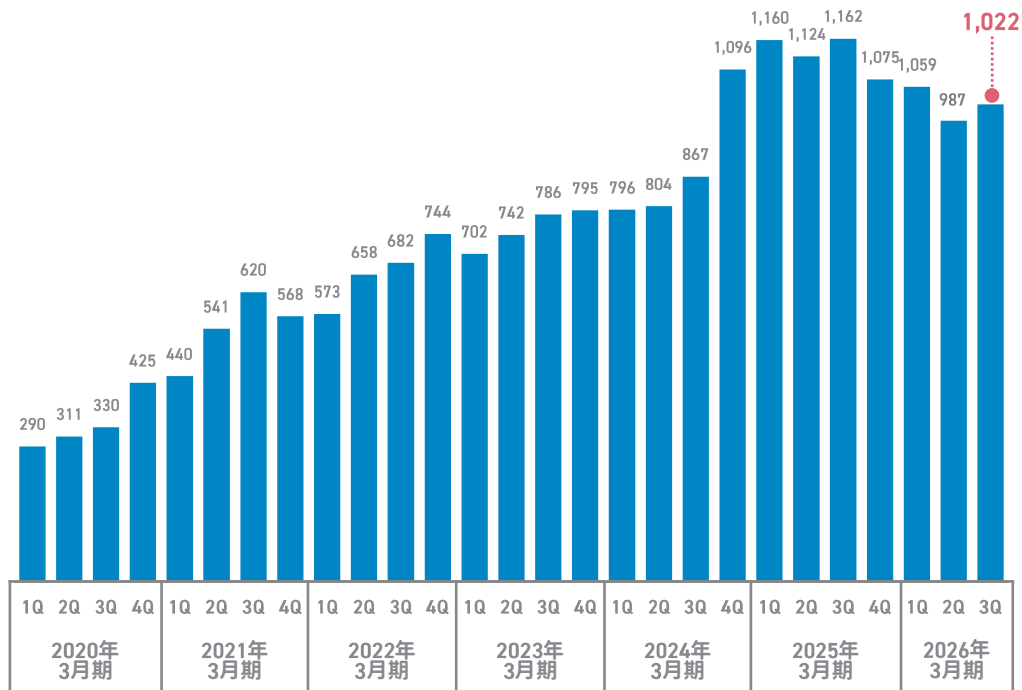
当第3四半期は、ストック粗利の大幅増益に加えて、当第1四半期から引き続き、子会社の合理化をはじめとするくすりの窓口を含めたグループ全体のコスト適正化に努めたことで、過去最高を更新しました。



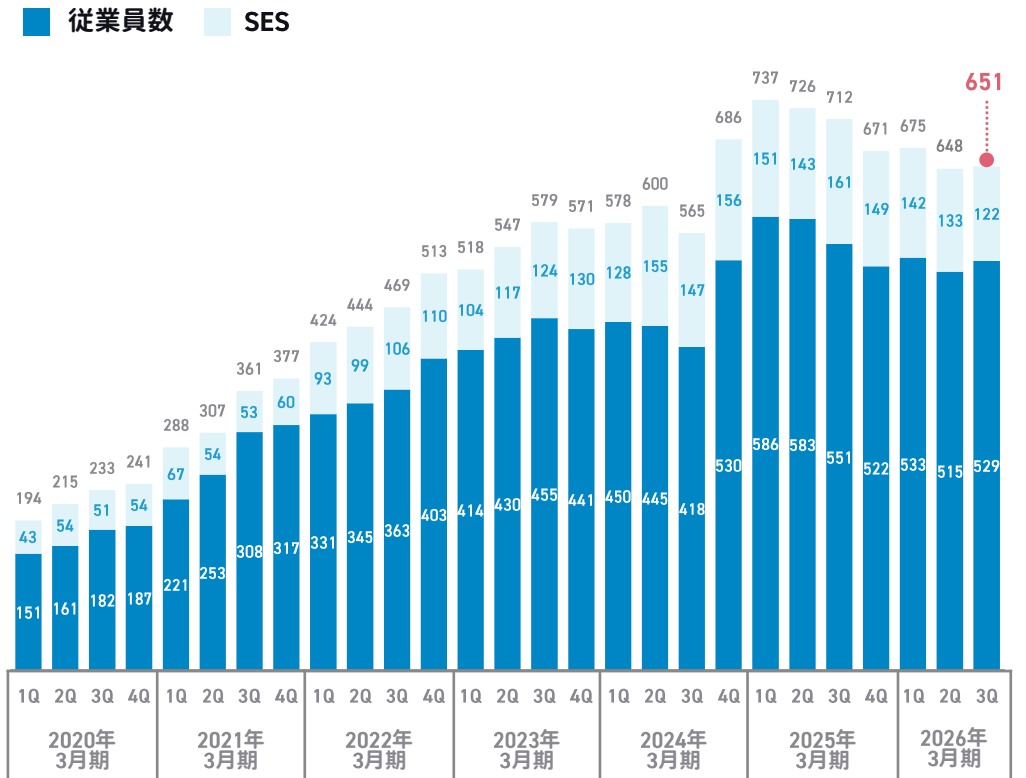
連結販管費と従業員数

子会社のコストの適正化が進み、販管費は前年同期比較で減少いたしました。

販管費 単位：百万円



従業員数 単位：人



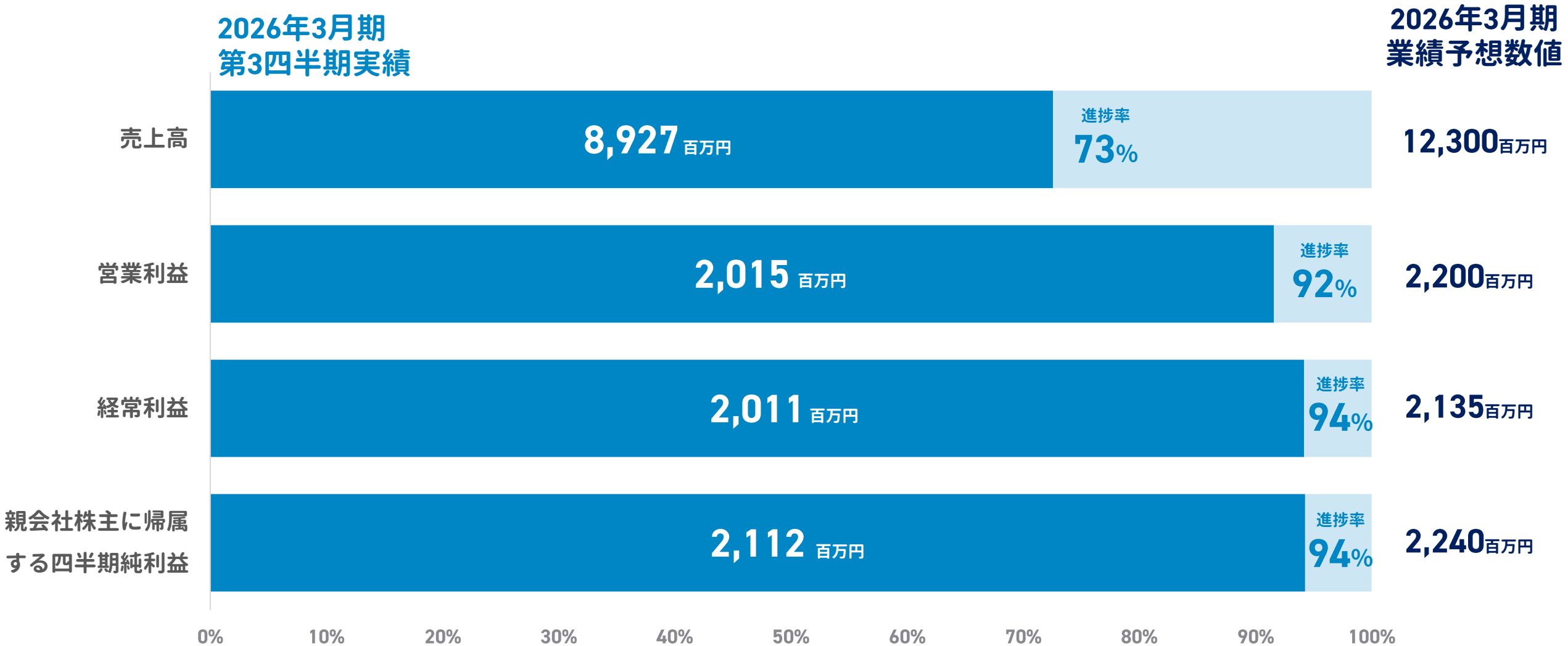
連結損益計算書

当第3四半期の段階利益につきましては、概ね高い増加率となりました。但し、過年度の親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰延税金資産の見直しによる法人調整額の計上が、増加要因となっております。

また、売上増加により固定費負担が相対的に軽減される規模の経済効果が働き、EBITDAが高い伸び率を示しています。

単位：百万円	2026年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減率	2026年3月期 第2四半期	増減率
売上高	3,102	2,976	+4%	2,910	+7%
売上総利益	1,776	1,768	+0%	1,619	+10%
営業利益	754	606	+24%	632	+19%
経常利益	759	615	+24%	606	+25%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	492	1,004	△51%	1,233	△60%
EBITDA	1,127	937	+20%	959	+18%

2026年3月期第3四半期の業績進捗率



連結貸借対照表

前年同期と比較して現預金が大幅に減少した要因は、仕入れサポートサービスの請求回収代行スキームを変更したことによるものです。また、当第2四半期と比較して現預金と流動負債が増加した要因は、主要子会社での新商品の先行投資資金を用途とする短期借入が増加したことによるものです。純資産は、前年同期で24%と高い伸び率で推移しています。

単位：百万円	2026年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減率	2026年3月期 第2四半期	増減率
総資産	14,886	18,853	△21%	13,336	+12%
流動資産	7,906	13,201	△40%	6,111	+29%
現預金	3,350	8,995	△63%	1,954	+71%
固定資産	6,980	5,651	+24%	7,225	△3%
負債	4,974	10,860	△54%	3,927	+27%
流動負債	3,756	10,171	△63%	2,637	+42%
固定負債	1,218	688	+77%	1,290	△6%
純資産	9,912	7,993	+24%	9,409	+5%

事業内容と業績

メディア事業

3. 事業内容と業績

メディア事業 | ビジネスモデル



国内最大級の
ポータルサイト





700万DL突破

iOS 4.54
Android 4.36

累計DL数
最大級のお薬手帳





EPARKくすりの窓口の
上位表示プラン



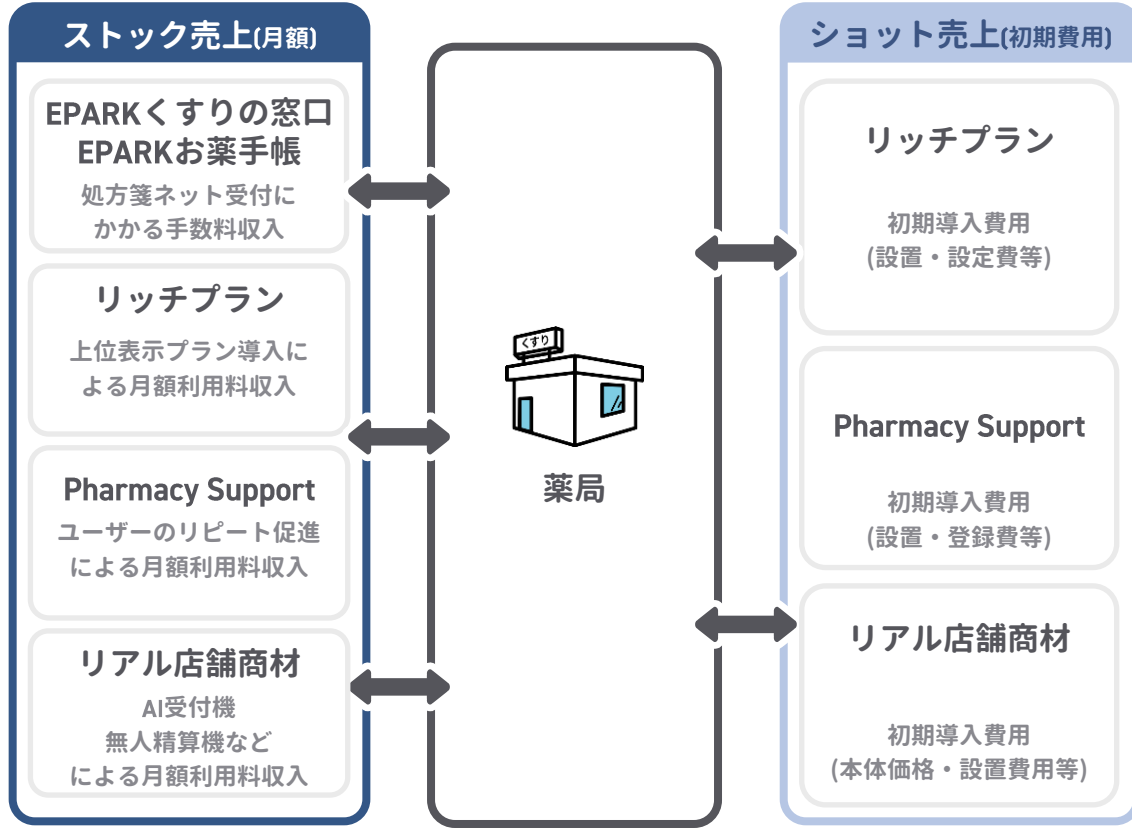
患者のリピート促進に
特化した顧客管理システム



AI受付機

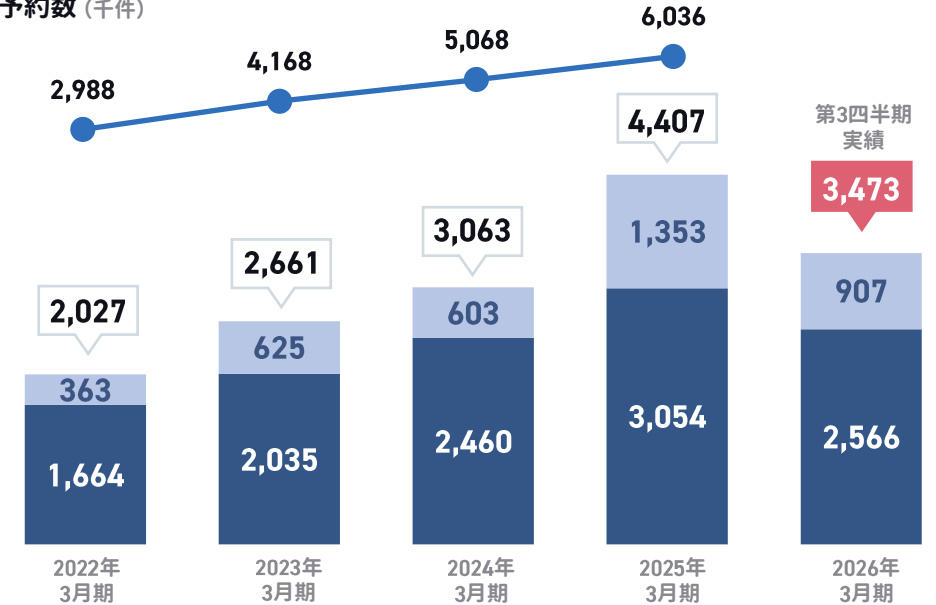


無人精算機



売上：メディア事業

- ショット売上 (百万円)
- ストック売上 (百万円)
- 予約数 (千件)



ストック売上：月額利用料などの契約に基づいて一定程度継続的に得られることを見込んでいる売上と定義。
 ショット売上：初期導入費用など一時的に得られる売上と定義。

3. 事業内容と業績

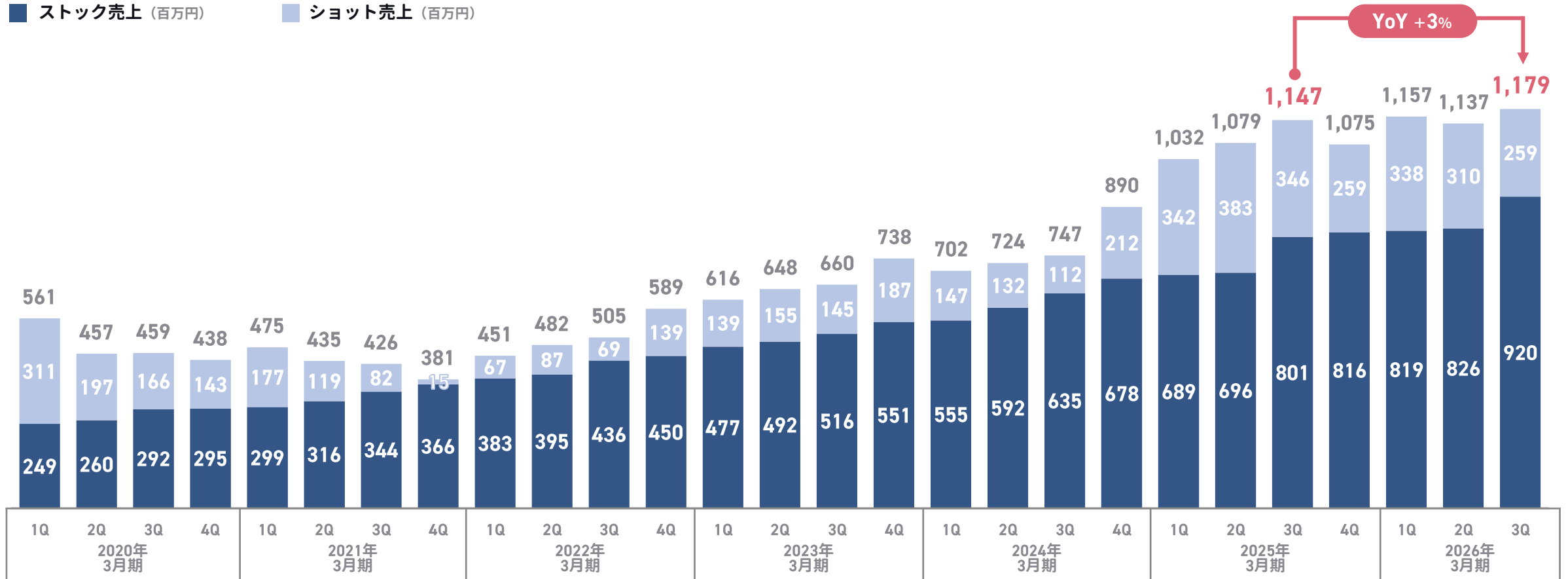
メディア事業 | 売上高

当第3四半期のショット売上は、前年同期の調剤報酬改定による加算要件のサービス需要が一巡したことで減少しましたが、ストック売上は、EPARKお薬手帳からの予約も含む処方箋ネット受付数や施設保有数の増加もあり過去最高を更新しました。

※メディア事業にEPARK人間ドックの売上を含めておりましたが、今後未病予防事業として報告するため、遡って売上を修正しております。

■ ストック売上 (百万円)

■ ショット売上 (百万円)



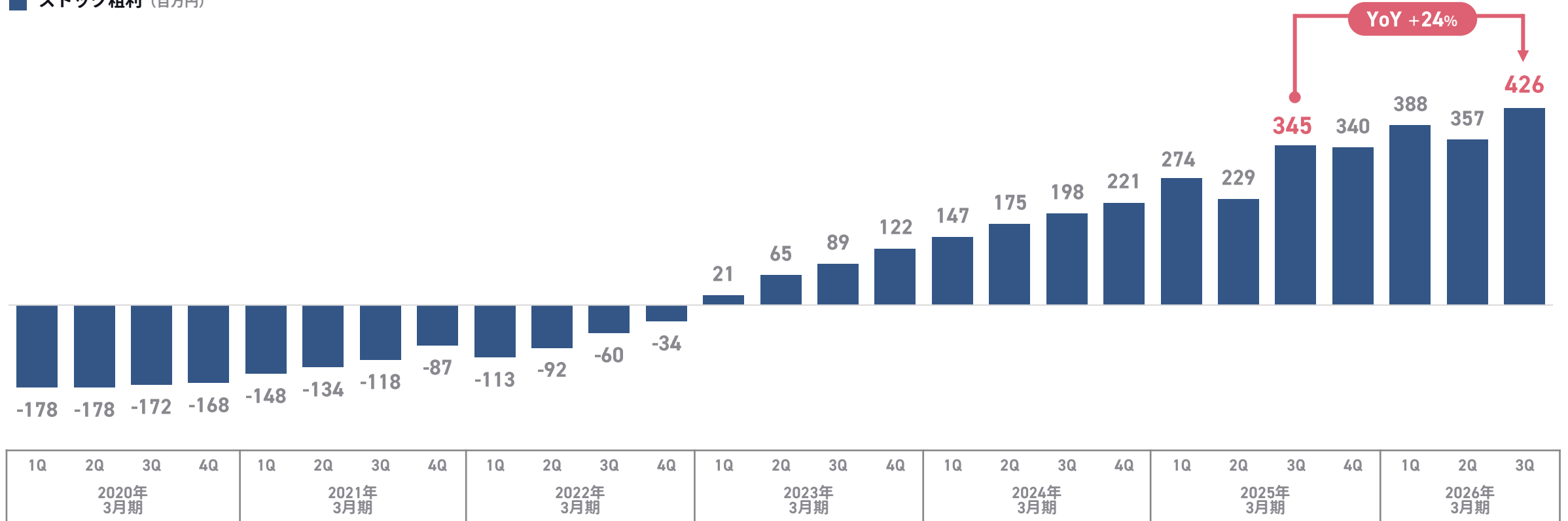
3. 事業内容と業績

メディア事業 | ストック粗利

当第3四半期は、施設保有数の増加や粗利率の改善もあり増益となりました。当第3四半期の粗利率は、前年同期の粗利率43%に対して46%と3ポイント改善しました。

※メディア事業にEPARK人間ドックの売上を含めておりましたが、今後未病予防事業として報告するため、遡って売上を修正しております。

■ ストック粗利 (百万円)

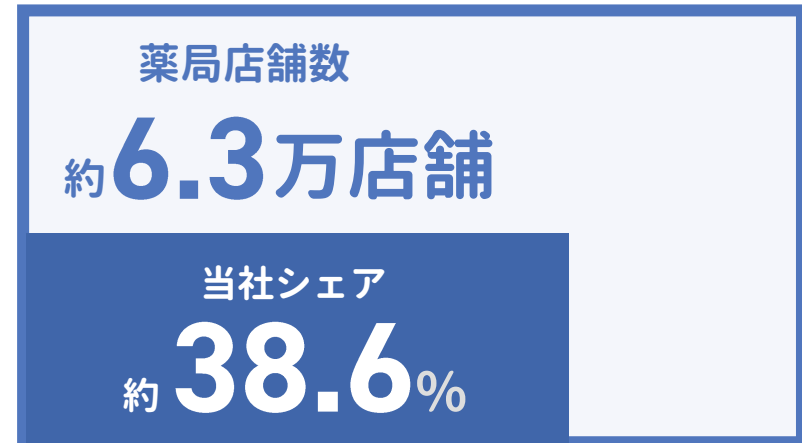
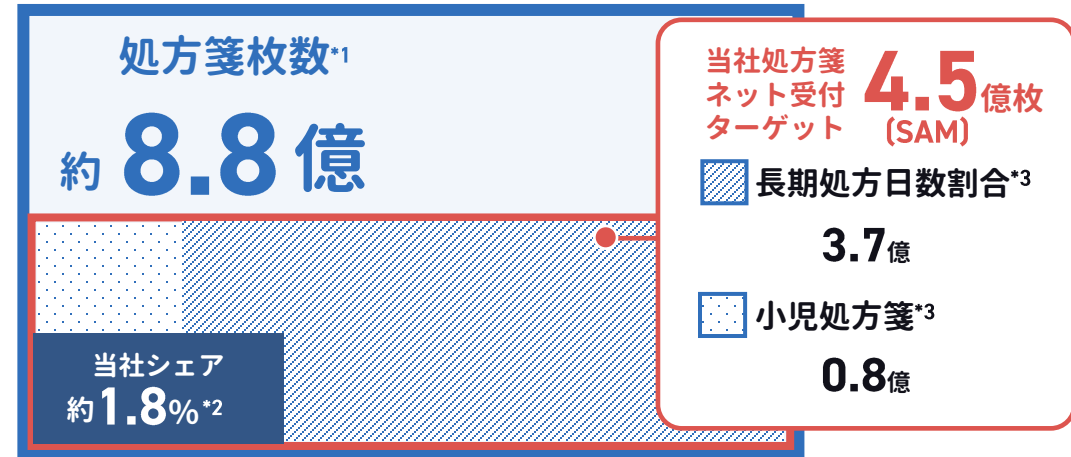
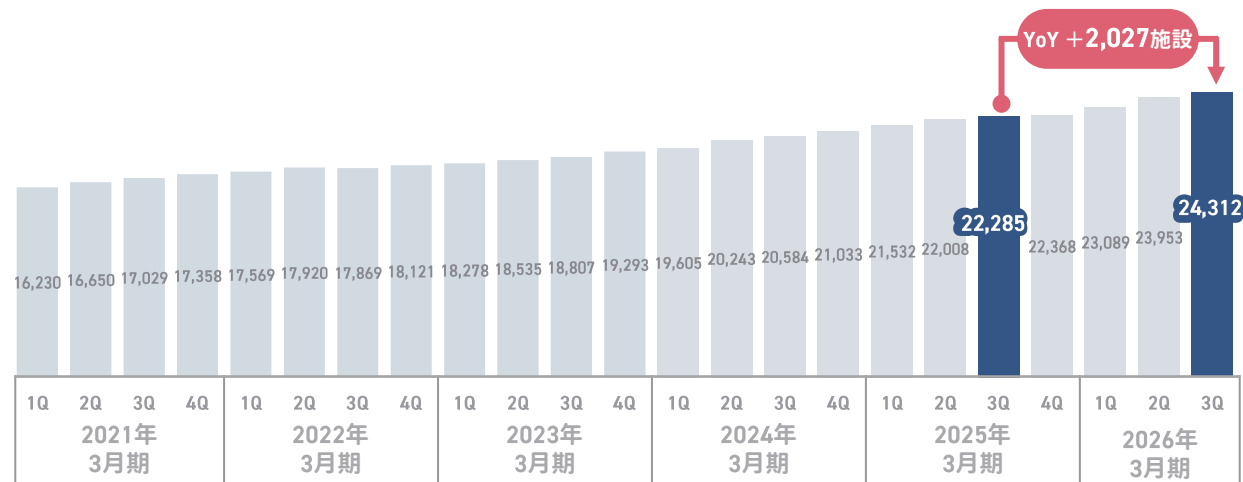
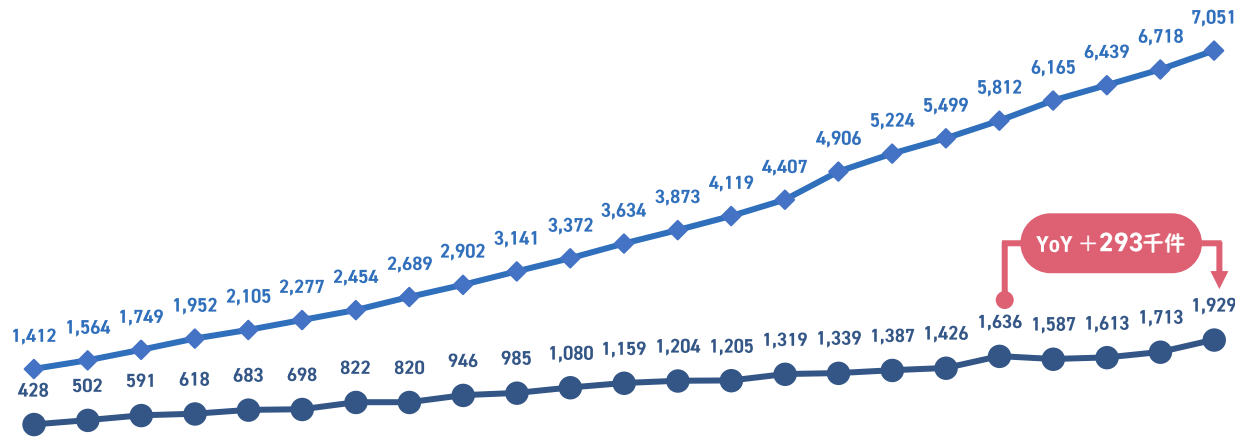


3. 事業内容と業績

メディア事業 | KPI (重要指数)

EPARKお薬手帳アプリの累計ダウンロード数は**700万突破**と好調に推移しております。
また、EPARKくすりの窓口からお薬手帳への囲い込みが進んでおります。

■ 施設保有数 (件) ● 予約数 (千件) ◆ お薬手帳DL数 (千件)



*1. 調剤医療費総額、処方箋枚数(受付回数)令和4年4月~令和5年3月

*2. 1予約当たりの処方箋枚数を1.2枚で計算

*3. *1を元に当社実績割合で算出

メディア事業 | トピックス

EPARKお薬手帳アプリを活用したサービス拡大

病院・クリニックの活用も含めた包括的な機能サポート



大手調剤薬局様が2026年3月より数百台規模のAI受付機を全店舗導入！！

AI受付機



- **処方箋受付**
OCR(文字認識) / QRコード読み取り / 電子処方箋控え読み取り
- **お薬手帳の回収**
患者様の紙のお薬手帳回収
- **受付票の発券**
お呼び出し順が記載された受付票の発券 / 受付票のQRコードからWEB問診票にアクセス可能
- **調剤完了の呼び出し**

NEW

レセコン自動反映

※当社独自のAI OCR技術を活用したレセコンへの自動反映が可能

AI受付機の引合い状況

テスト設置している企業

- イオンリテール株式会社
- 株式会社ツルハホールディングス (OCR調整中)
- ウエルシアホールディングス株式会社 (OCR調整中)
- 株式会社 新生堂薬局
- 株式会社 ヤマダデンキ

テスト設置を予定している企業

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 株式会社 ウェルパーク | 株式会社 千葉薬品 |
| 株式会社 サッポロドラッグストア | 株式会社 Yell Pharmacy |
| 株式会社 大賀薬局 | 株式会社 南山堂 |
| 株式会社ファルコファーマシーズ | 株式会社 大信薬局 |
| 株式会社ハッピーファーマシー | 株式会社ノムラ薬局 |
| 株式会社マリニンググループホールディングス | 株式会社 ことぶきメディカル |
| 株式会社 サン・ケア | |

※企業名は敬称略にて記載させていただいております。(敬称略・順不同)

■ 事業内容と業績

みんなのお薬箱事業

3. 事業内容と業績

みんなのお薬箱事業 | ビジネスモデル



国内最大級の流通改善により、最適な仕入れサポートサービスの提供

e-オーダー



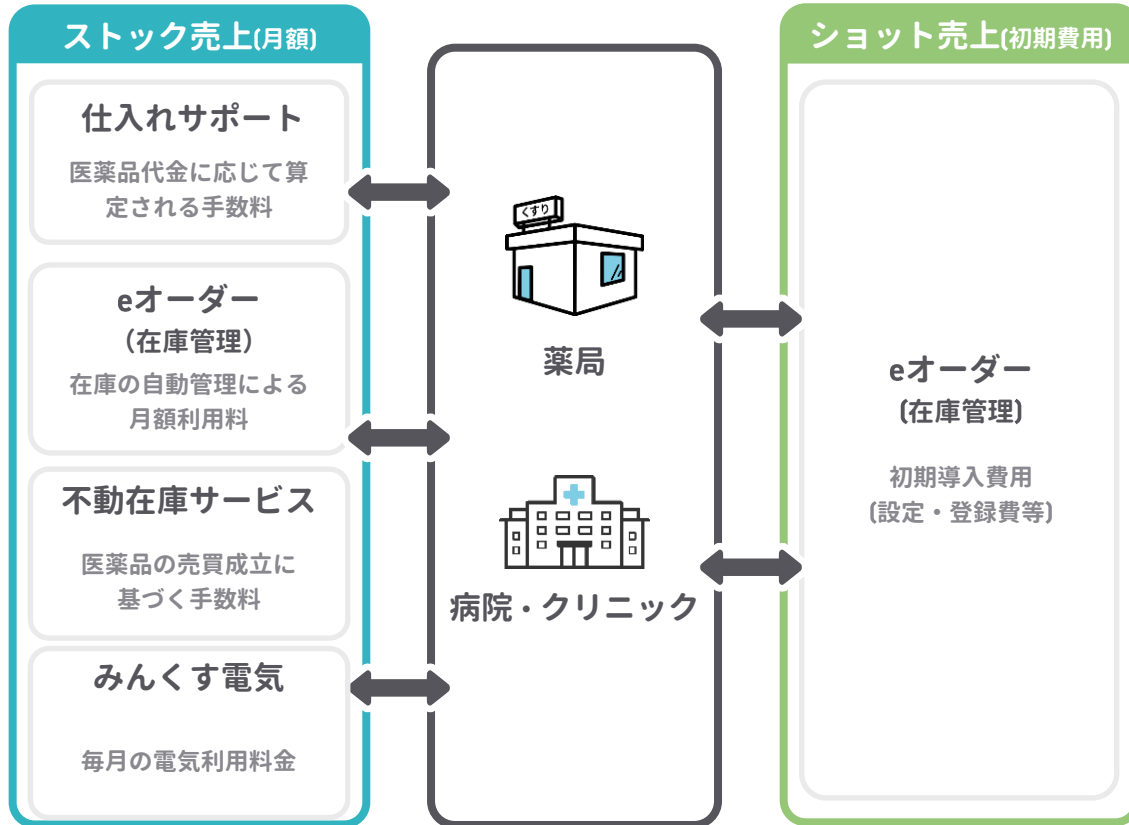
AIを活用した在庫管理自動発注システム

不動産在庫サービス

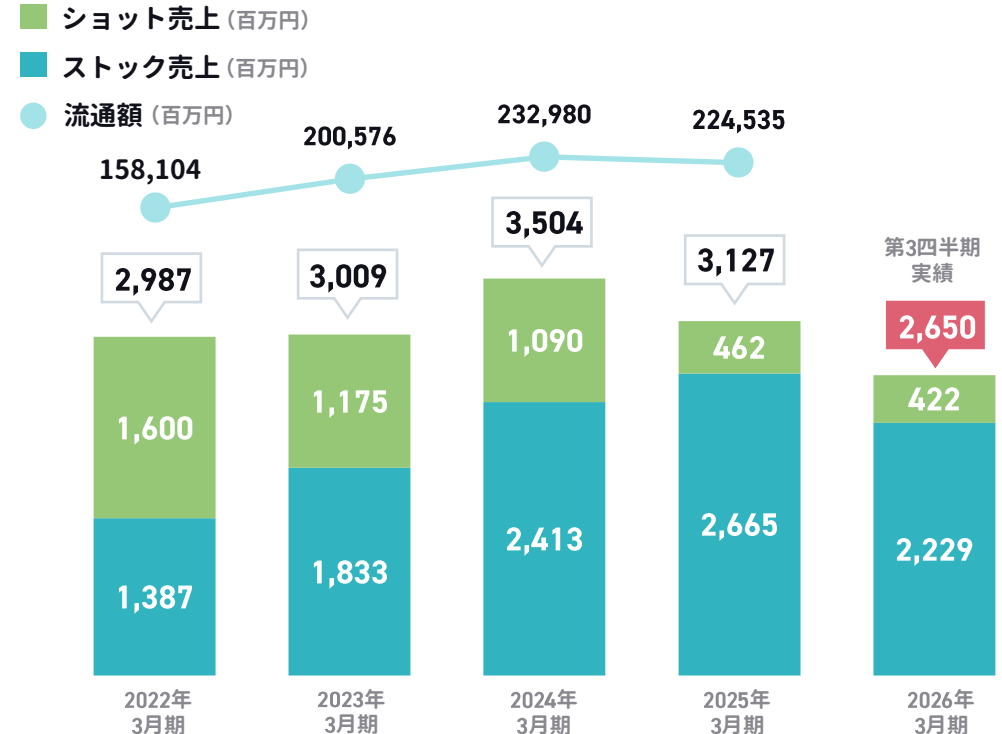
国内最大級の医薬品売買のマッチングサイト



調剤薬局、医療機関向けに最適な電力供給環境を提供



売上：みんなのお薬箱事業



ストック売上：月額利用料などの契約に基づいて一定程度継続的に得られることを見込んでいる売上と定義。

ショット売上：初期導入費用など一時的に得られる売上と定義。

流通額：不動産在庫でマッチングした医薬品額と仕入れサポートの医薬品仕入れ額の合算。

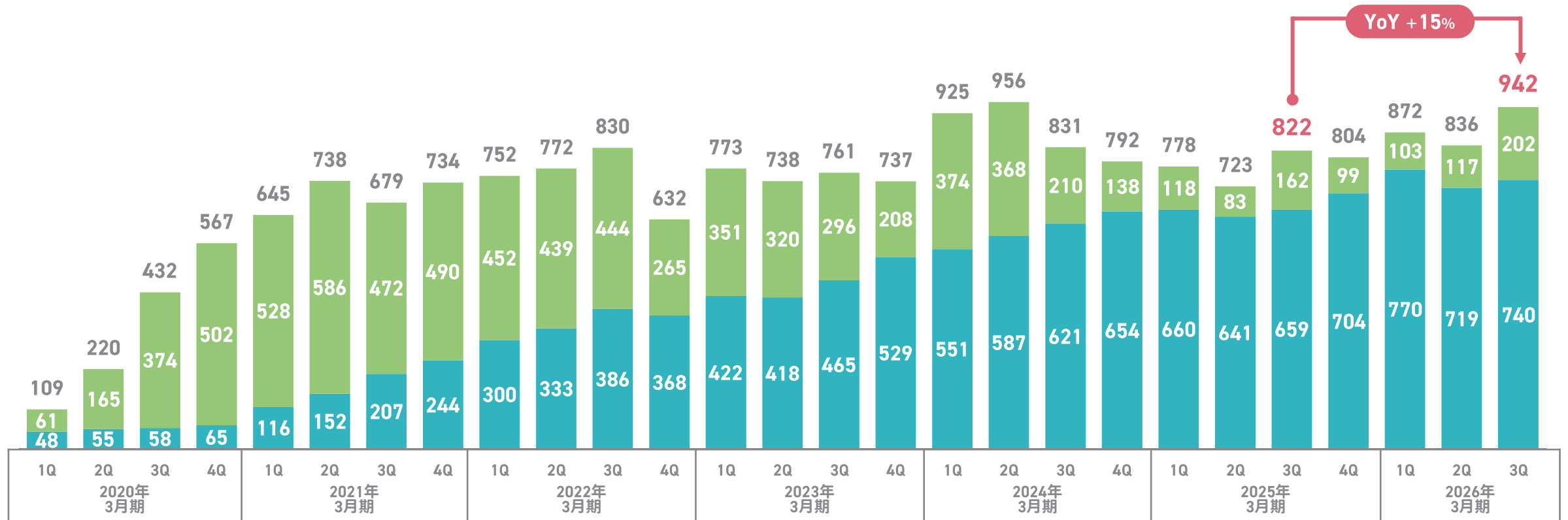
3. 事業内容と業績

みんなのお薬箱事業 | 売上高

ショット売上は、仕入れサポートの顧客の獲得が順調に推移し始めたため、増収となりました。
 ストック売上は、不動在庫サービスが好調を継続していることと、仕入れサポートの顧客獲得から増加しました。

■ ストック売上 (百万円)

■ ショット売上 (百万円)

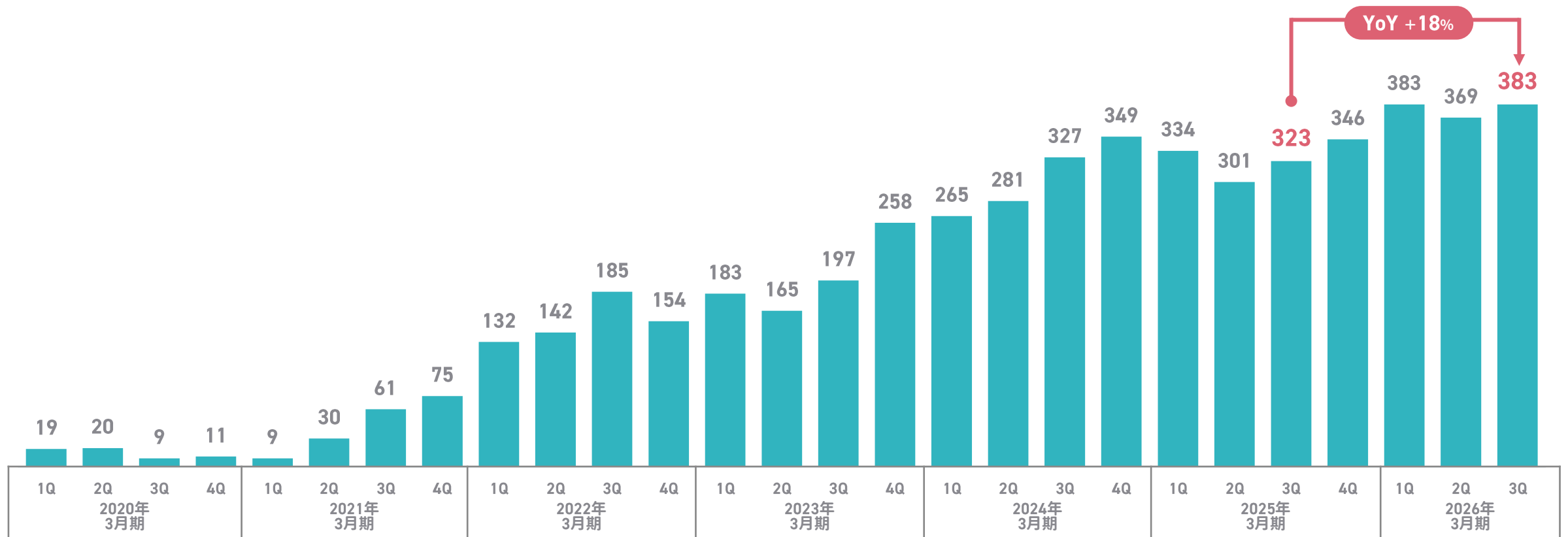


3. 事業内容と業績

みんなのお薬箱事業 | ストック粗利

ストック売上が増加したことと粗利率が改善しましたので増益となりました。当第3四半期の粗利率は、前年同期の粗利率49%に対して52%と3ポイント改善しました。

■ ストック粗利 (百万円)

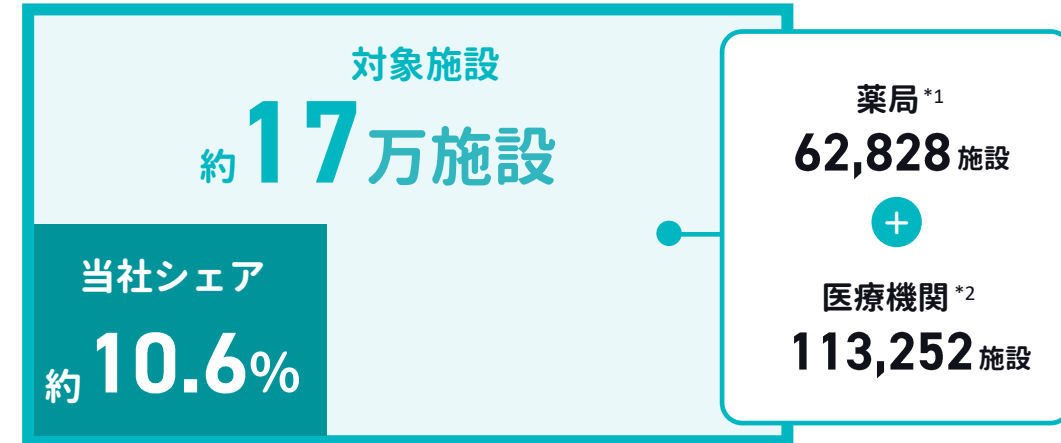
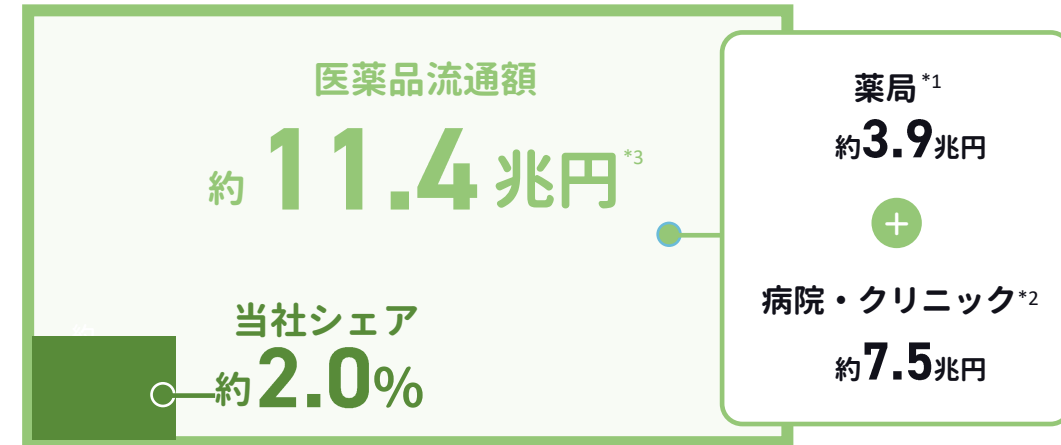
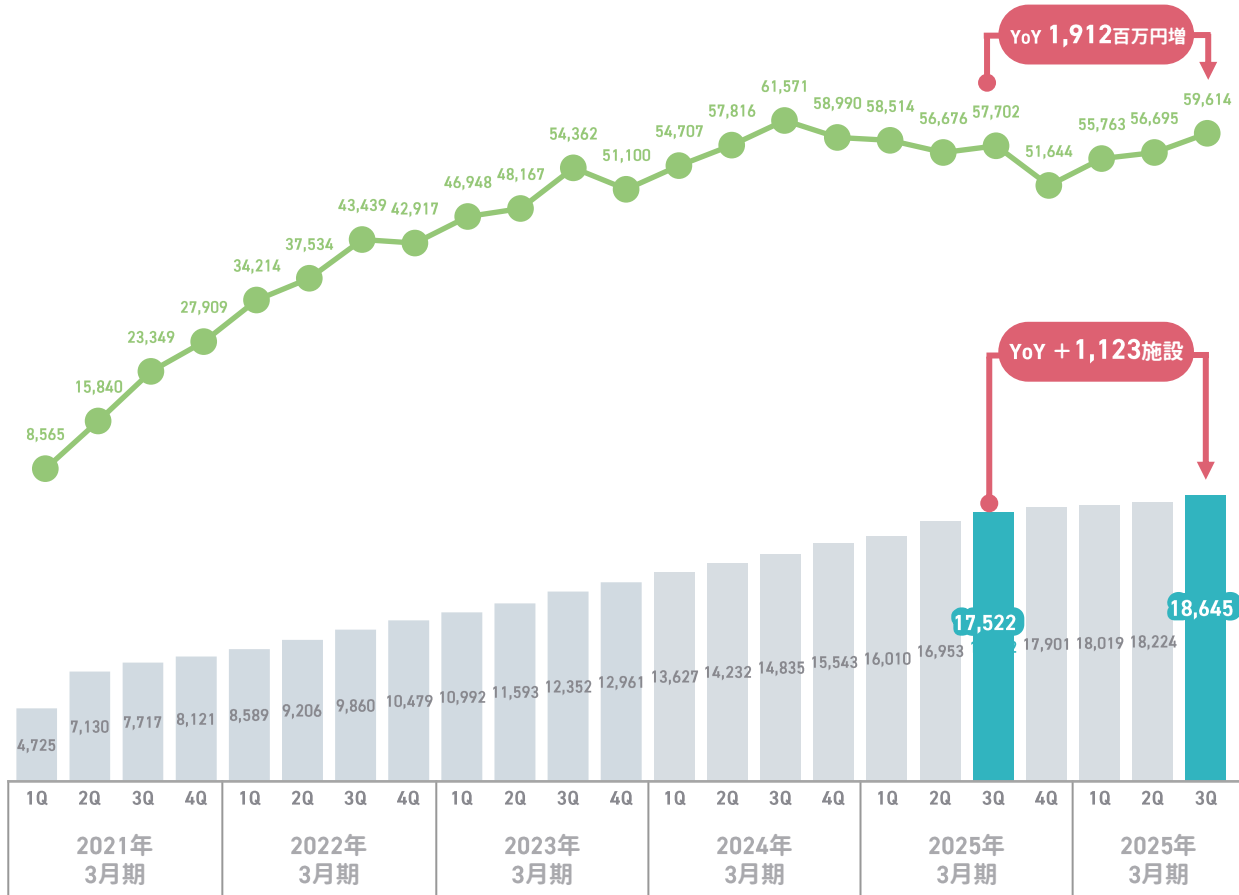


3. 事業内容と業績

みんなのお薬箱事業 | KPI (重要指標)

※仕入れサポートサービス+不動在庫サービス

■ 施設保有数 ● 流通額 (仕入れサポートサービス+不動在庫サービス) (百万円)



*1. 厚労省「薬局薬剤師に関する基礎資料(概要)」より

*2. 厚労省「医療施設動態調査(令和3年1月末概数)」より

*3. IQVIA医薬品市場統計△売上データ (期間: 2022年4月~2023年3月)

みんなのお薬箱事業 | トピックス

不動産在庫サービスの拡大

グループ会社ピークウェルの自社倉庫管理のDX化を推進したことによる削減コストを活用し、加盟薬局の不動産の高価買取などの価格還元策を実施したことで大手・中堅企業の獲得につながっています。



自社倉庫管理にAI技術を導入してさらなる価格還元を実現することで、不動産サービスの顧客数を拡大していきます。

店舗間共有機能のリリース

調剤薬局チェーングループ内店舗間の在庫を最適化

予め設定した各店舗の在庫状況と調剤需要予測から店舗間の薬の譲渡や譲受を促進し、各店舗の在庫を最適化するシステム。



- 期待される効果
- ・ 医薬品の廃棄削減
 - ・ 調達コストの低減
 - ・ 在庫の適正化

地域間共有機能の引合い

地域薬局店舗間の在庫を最適化

地域内各店舗の在庫状況から店舗間の薬の譲渡や譲受を促進し、各地域内店舗の在庫を最適化するシステム。



引合いが増加

みんくす電気



経営環境の厳しい医療機関にとっても、簡単に始められて効果が実感できるため引き合いが増えています。

年間約1,000万円の コスト削減事例

	年間使用電気料	Before	After	年間改善額	削減率
本館	1,405,075 kWh	29,055,545 円	25,826,991 円	▲3,228,554 円	▲11.11%
別館	189,147 kWh	5,110,158 円	3,973,288 円	▲1,136,870 円	▲22.25%
外来棟	167,201 kWh	4,531,320 円	3,540,664 円	▲990,656 円	▲21.86%
老健	228,406 kWh	4,949,247 円	4,302,616 円	▲646,631 円	▲13.07%
併設施設	941,122 kWh	21,361,491 円	17,935,499 円	▲3,425,992 円	▲16.04%
合計	2,930,951 kWh	65,007,761 円	55,579,058 円	▲9,428,703 円	▲14.50%

事業内容と業績

基幹システム事業

3. 事業内容と業績

基幹システム事業 | ビジネスモデル

薬局

Pharmy Connect
Hi-story

レセコン、薬歴、
監査システムを薬
局向けに提供

介護

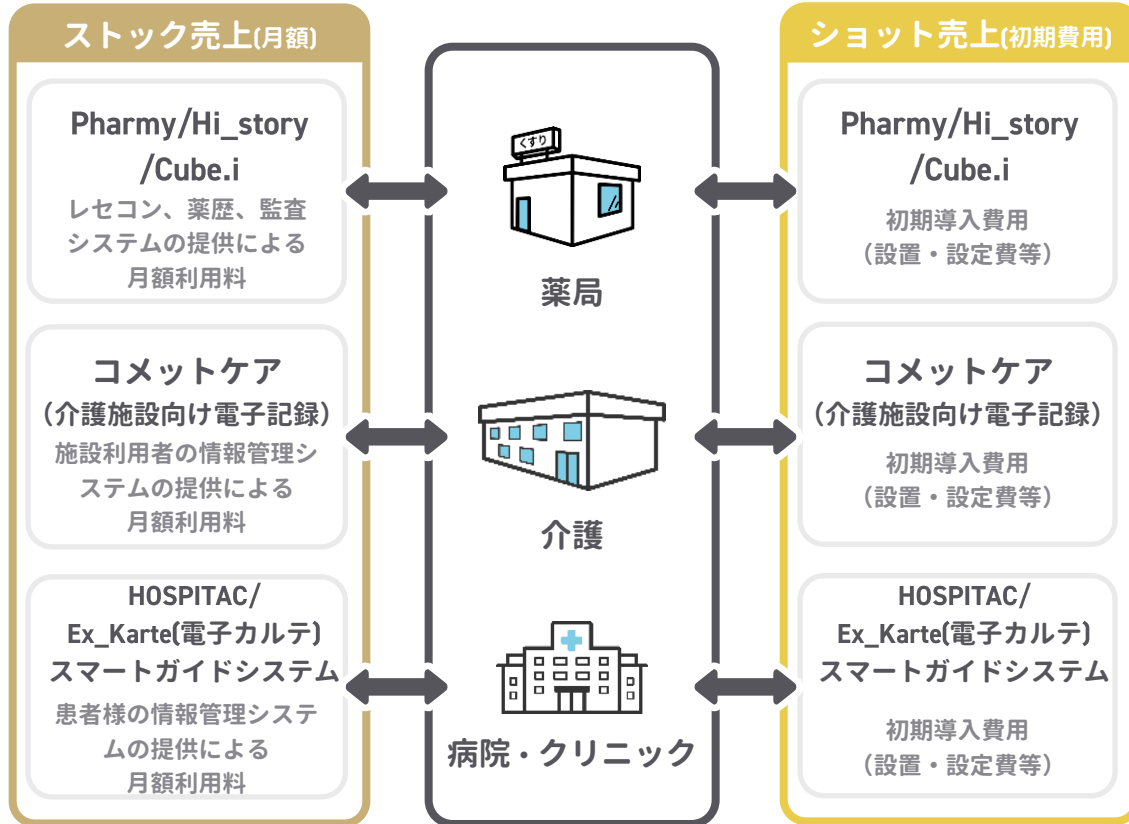
コメットケア
ケア記録アプリ
見守りライフ

介護記録システム
を提供

病院

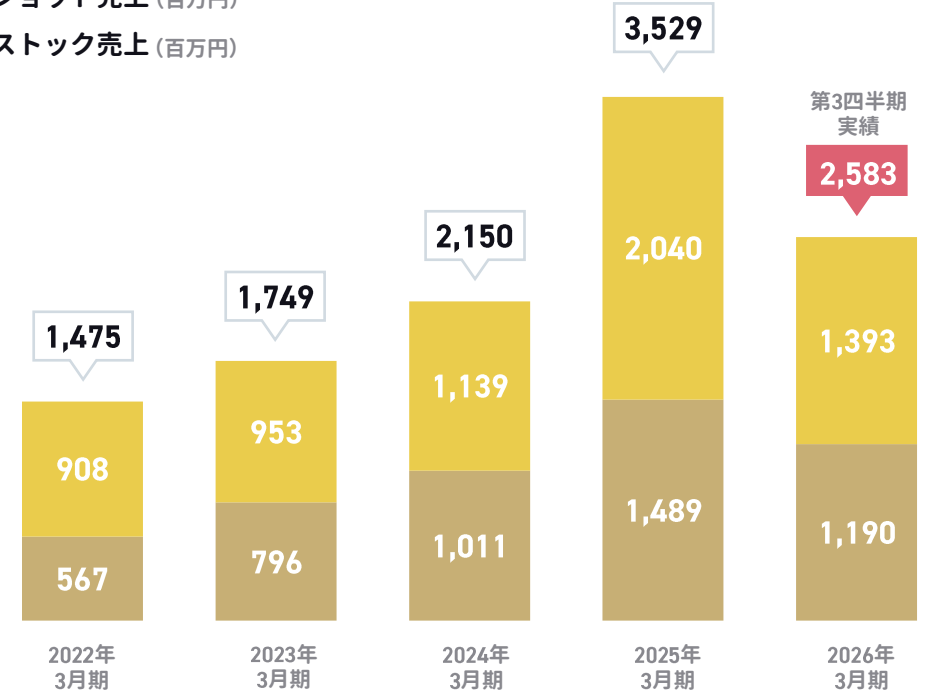
HOSPITAC®
Ex-Karte
スマートガイドシステム

医事会計・オーダーリ
ング一体型電子カルテ/
電子カルテ/外来向け
の通院サポートシステ
ム



売上：基幹システム事業

■ ショット売上 (百万円)
■ ストック売上 (百万円)



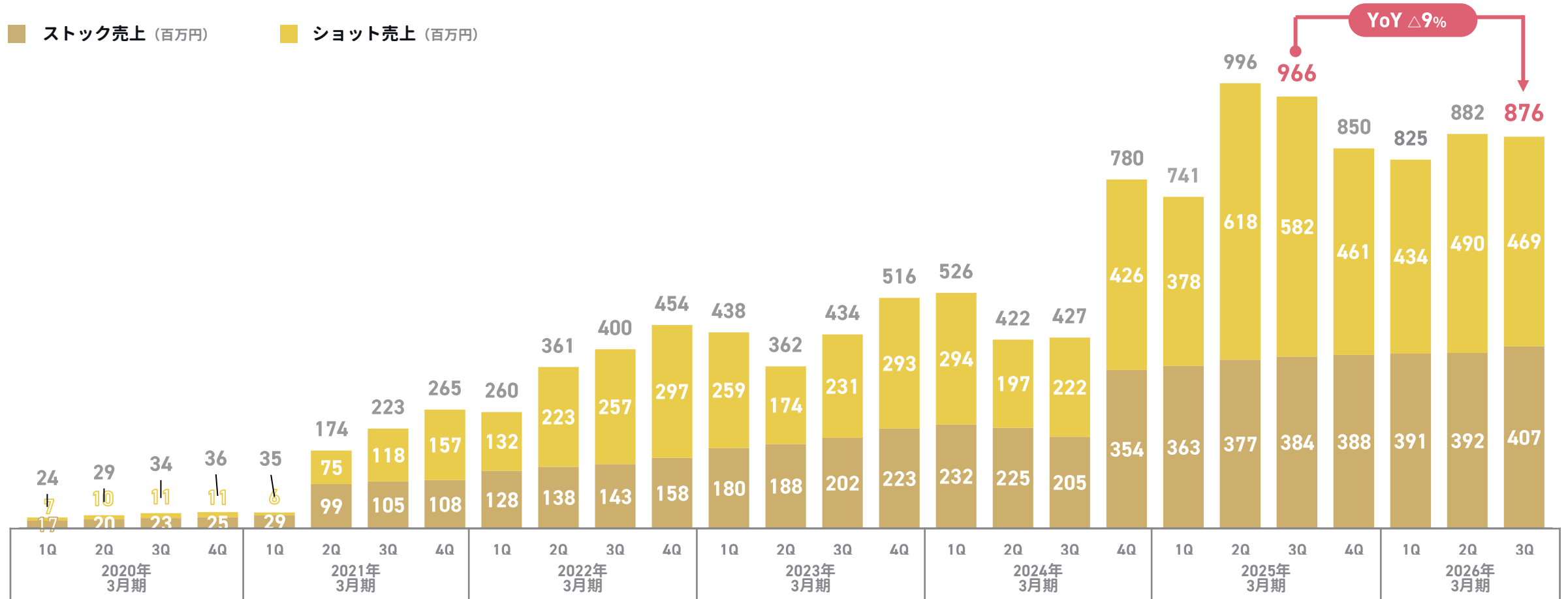
ストック売上：月額利用料などの契約に基づいて一定程度継続的に得られることを見込んでいる売上と定義。
ショット売上：初期導入費用など一時的に得られる売上と定義。

3. 事業内容と業績

基幹システム事業 | 売上高

ショット売上は、前年同期の特需による反動で減少しました。

一方で、ストック売上はレセコンや調剤監査システムの下支えもあり、着実に積み上がり、過去最高を更新しました。



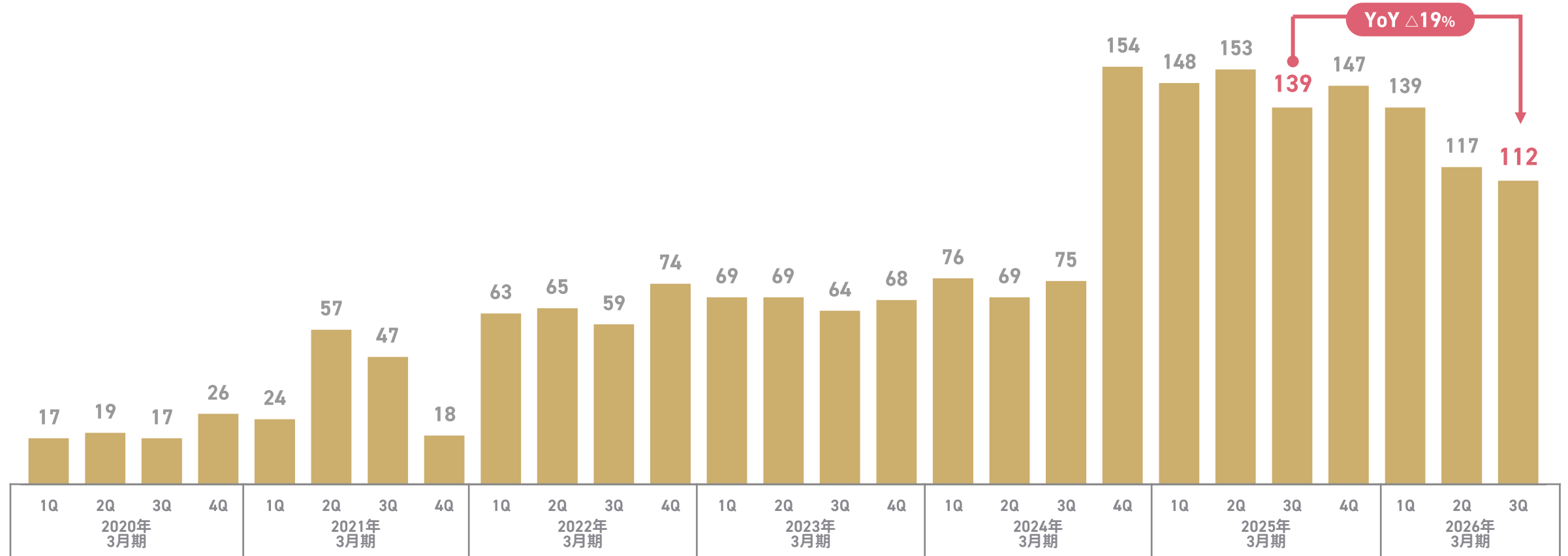
3. 事業内容と業績

基幹システム事業 | ストック粗利

ストック粗利は、減少しました。これは、主に子会社でのストック売上・原価の定義変更及び主要子会社での新商品の先行投資によるストック原価の上昇によるものです。また、一部の商材で解約があり、当第2四半期比較でストック粗利が減少しました。

※ストック売上・原価の定義を変更したことから、2025年3月期第1四半期まで遡ってストック粗利を修正しております。

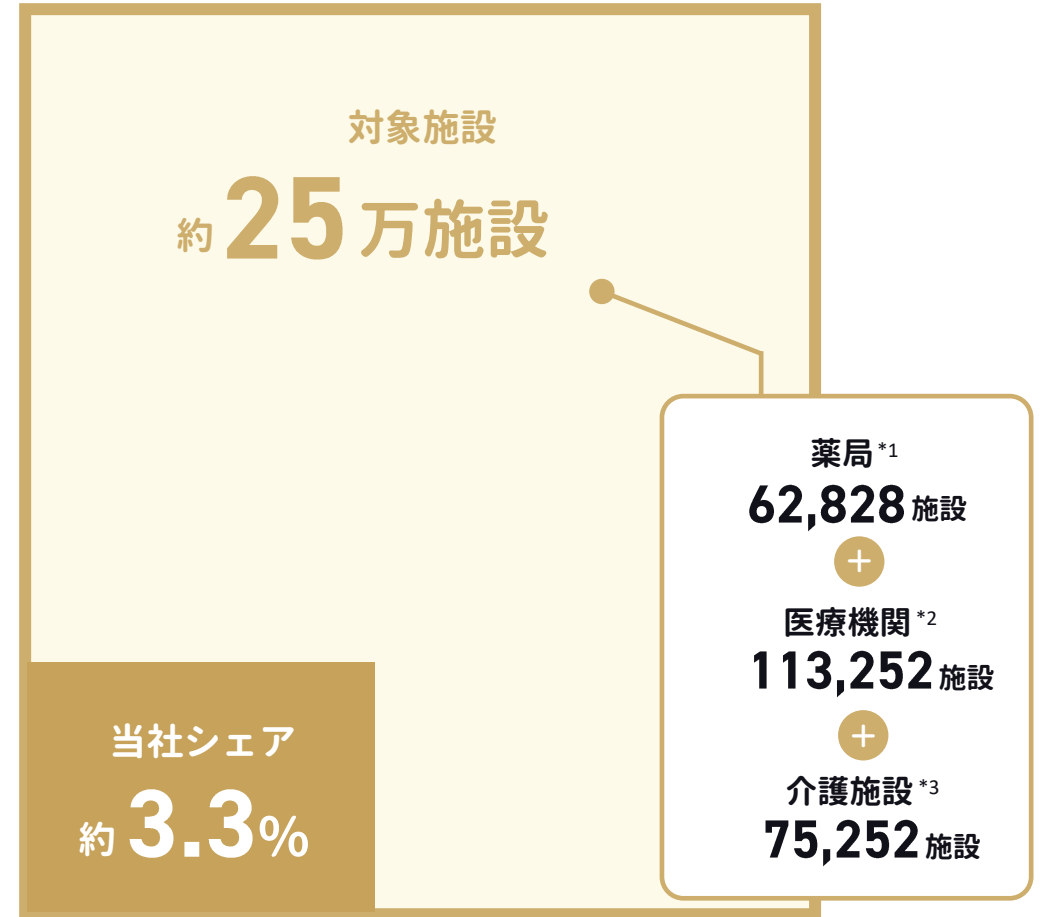
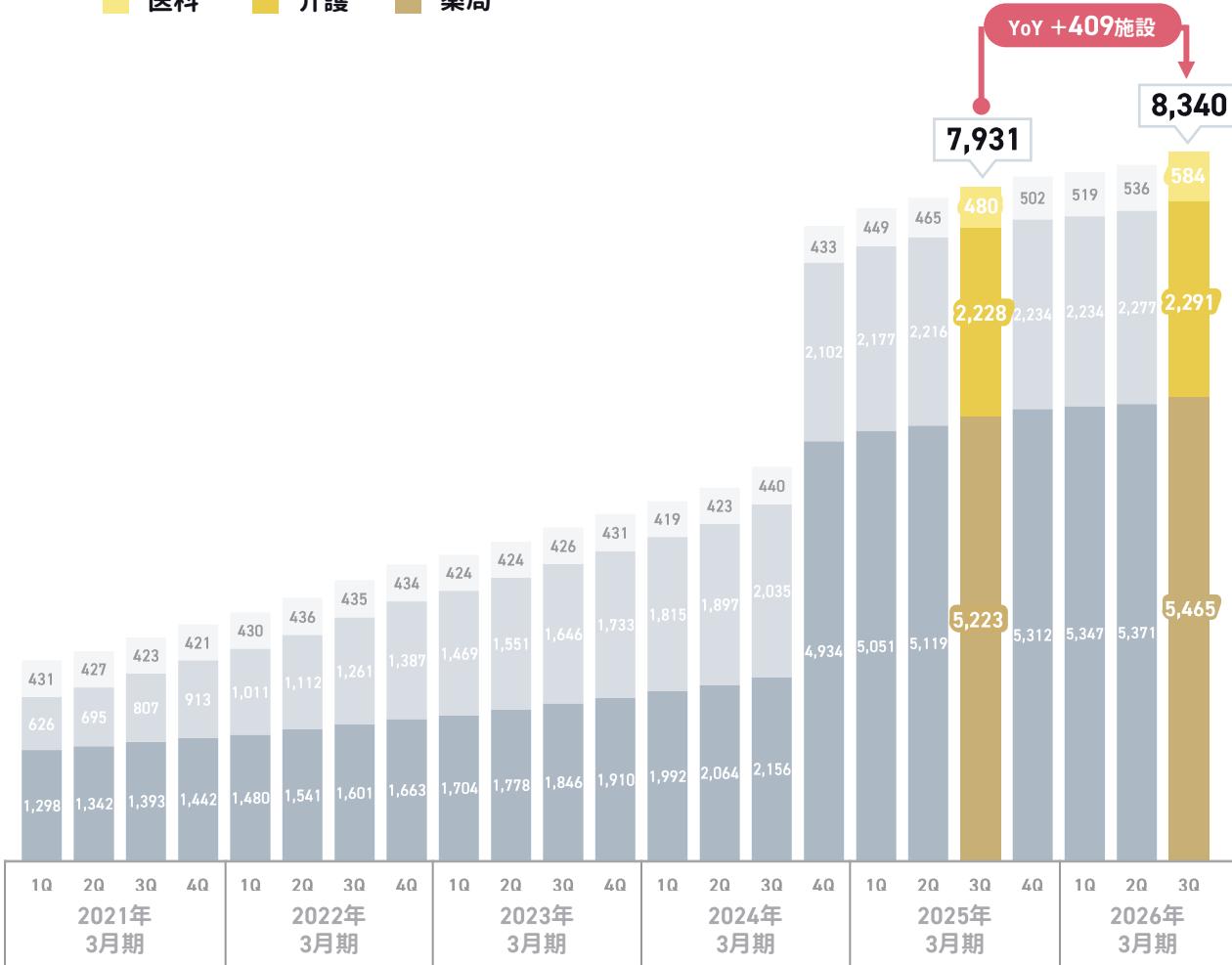
■ ストック粗利 (百万円)



3. 事業内容と業績

基幹システム事業 | KPI (重要指数) 業種別施設保有数推移 (四半期)

■ 医科 ■ 介護 ■ 薬局



*1. 厚労省「薬局薬剤師に関する基礎資料(概要)」より
 *2. 厚労省「医療施設動態調査(令和3年1月末概数)」より
 *3. R40324社保審介護保険部会資料より

基幹システム事業 | トピックス

クラウド版電子薬歴システム Hi-story α

機能を強化した電子薬歴システムがリリース

くすりの窓口の各種サービスとの連携、AIを活用した業務の自動化が強化された「Hi-story」の新モデルをリリースしました。

便利な連携機能



WEB問診連携

LINE問診連携

オンライン資格連携

併用薬連携

AI enボイス連携

服薬FAX連携

無人精算機連携

服薬フォロー連携

Moines のレセコンのAIOCR機能

処方箋のレセコンへの自動入力

スキャナ等で読み取った処方箋の情報は、レセコンに自動入力されますので、従来の手作業での入力が不要になる機能です。AI受付機からの入力も自動化されます。

STEP 1

スキャン

スキャナ AI受付機



STEP 2

自動取込



STEP 3

処方入力完了



事業内容と業績

未病予防事業

3. 事業内容と業績

未病予防事業 | ビジネスモデル

くすりの窓口 健診サポート

各健診施設との契約・更新から被保険者へのWEB予約環境の提供、未受診者に対する受診勧奨、請求書や健診結果の取りまとめをサポート

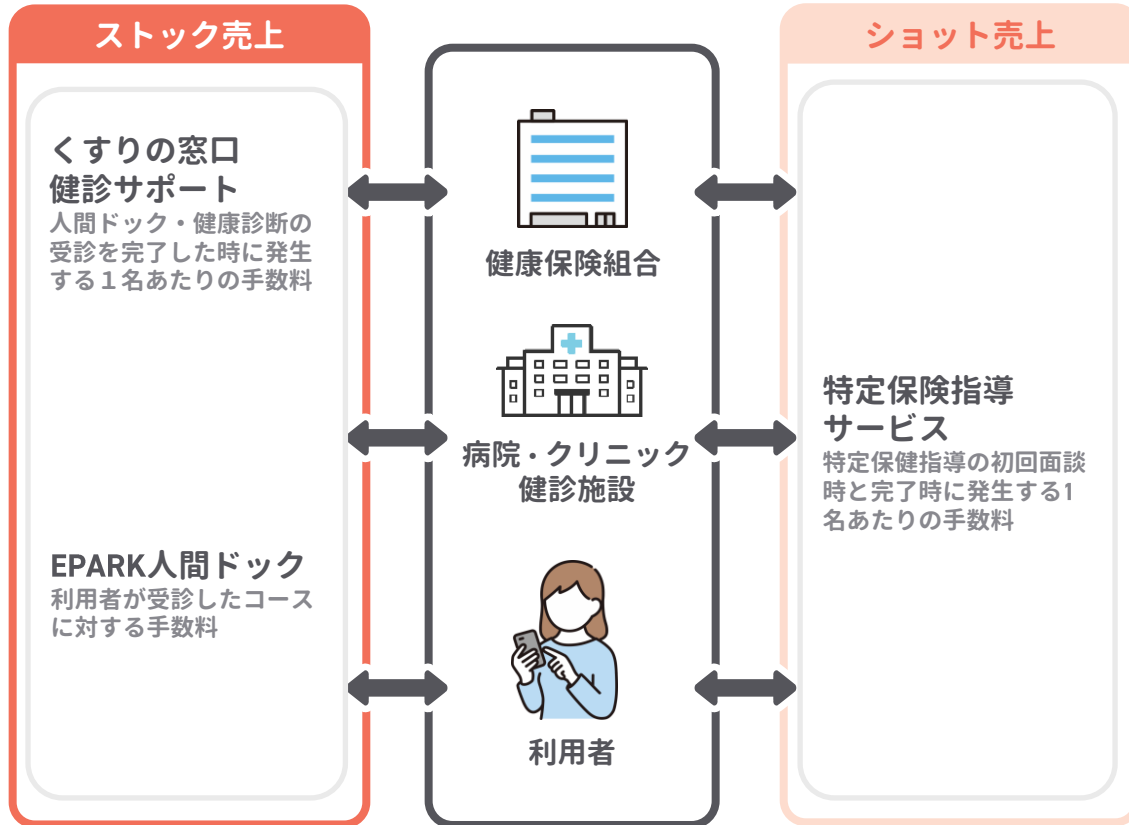


人間ドック・健診の 24時間WEB予約サービス

特定保健指導 サービス



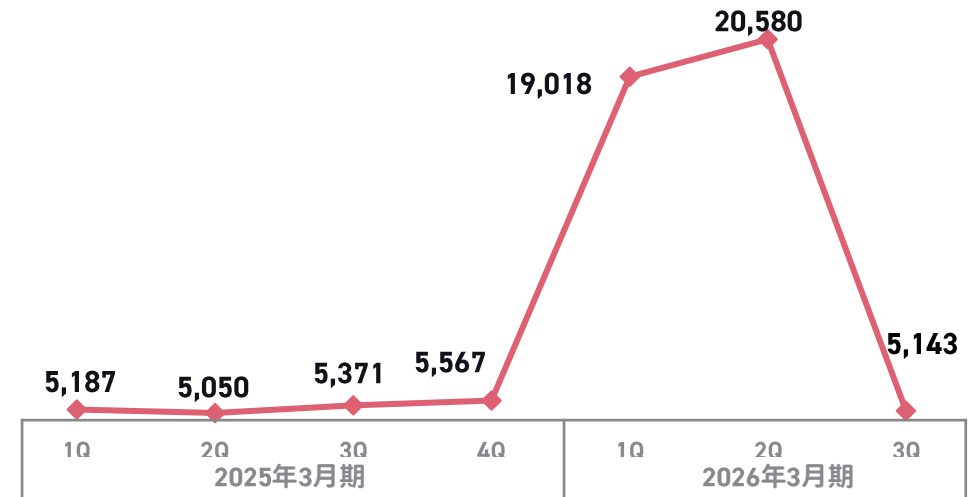
対象者に対して、弊社加盟薬局の検索や対面、電話、メールなどの面談方法を選択できるWEB環境を提供。さらに対象者の抽出から未受診者への受診勧奨、特定保健指導完了までをサポート。



KPI：未病予防事業

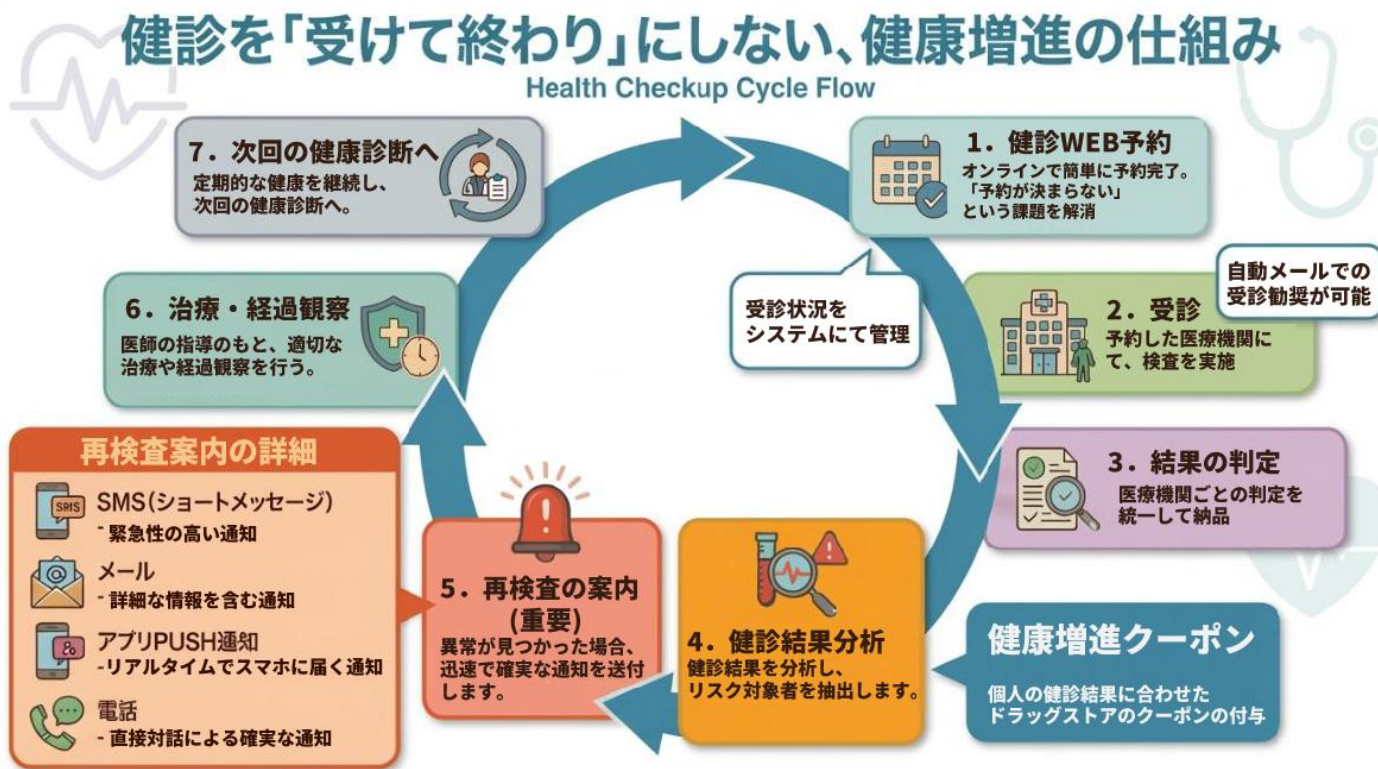
◆ 予約数(くすりの窓口健診サポートの予約数+EPARK人間ドックの予約数) ※

※売上は、ご予約頂いたユーザーが健康診断または人間ドックを実際に受診した月に計上されます。通常、予約から売上計上までは2~3ヵ月掛かります。



未病予防事業 | トピックス

- 導入効果 当社サービスを導入後の健診受診率が3ポイント改善の99%
- 今後の展開 来期の当社サービスの健診受診者見通しは当期の3万弱から倍以上
疾病予測からさらに発病したときの医療費を予測する機能を来期リリース



2026年3月期 業績見通し

2026年3月期 業績見通し

当第3四半期までの業績の進捗を踏まえて以下のとおり修正します。年間配当金は30円から36円に6円増額いたします。なお、当第4四半期から連結子会社化したメディ・ウェブやイーディライトの業績は反映しておりません。

単位：百万円	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (2025年5月14日開示)	2026年3月期 (2026年2月13日開示)	前期比
売上高	6,489	7,420	8,721	11,199	12,300	12,300	+9.8%
売上原価	3,117	3,346	3,788	4,724	-	-	-
売上総利益	3,372	4,074	4,932	6,475	-	-	-
販売管理費	2,657	3,024	3,562	4,521	-	-	-
営業利益	715	1,050	1,370	1,953	2,200	2,450	+25.4%
経常利益	815	938	1,325	1,940	2,135	2,400	+23.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	515	391	870	2,034	2,240	2,690	+32.2%
年間配当金 (単位：円)				27	30	36	+9

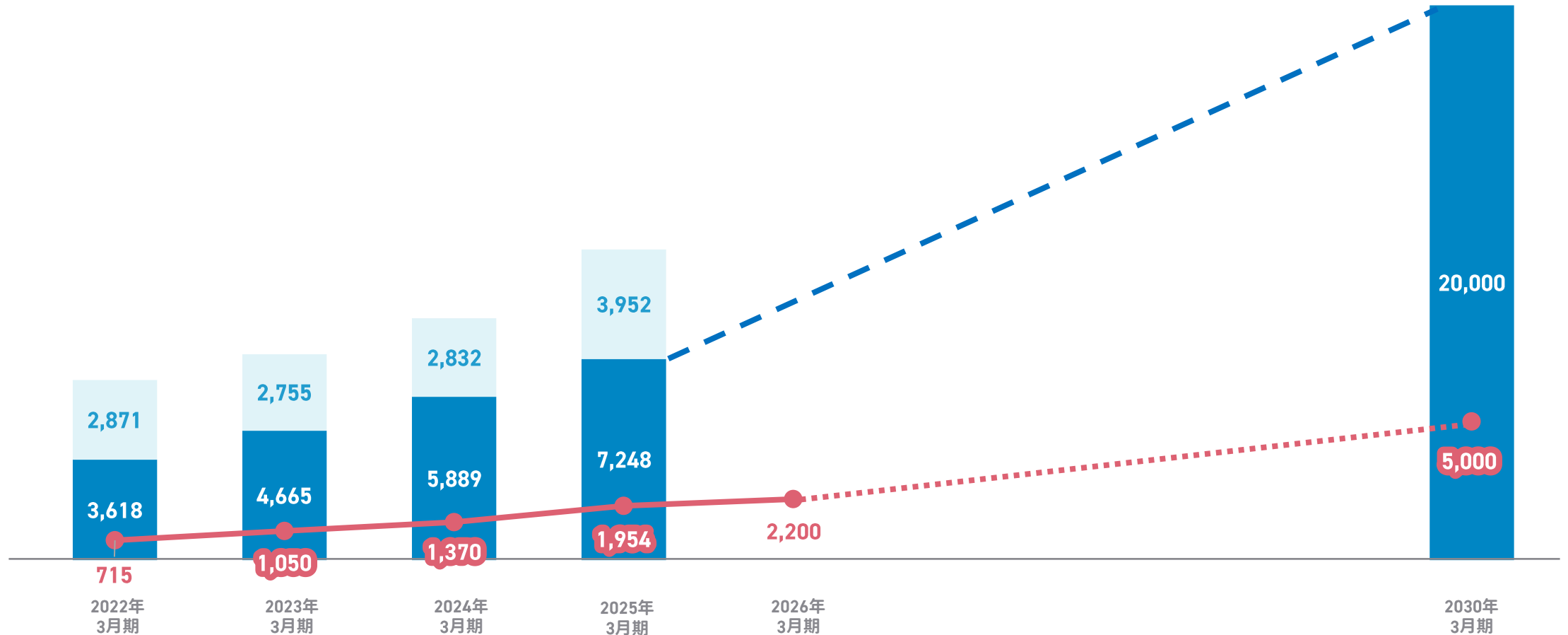
中期経営計画

5. 中期経営計画

中期経営計画

ストック売上を積み上げながら安定的な利益を確保し、**ストック売上200億円、営業利益50億円以上を目指します。**

■ ストック売上高 ■ ショット売上高 ● 連結営業利益 単位：百万円

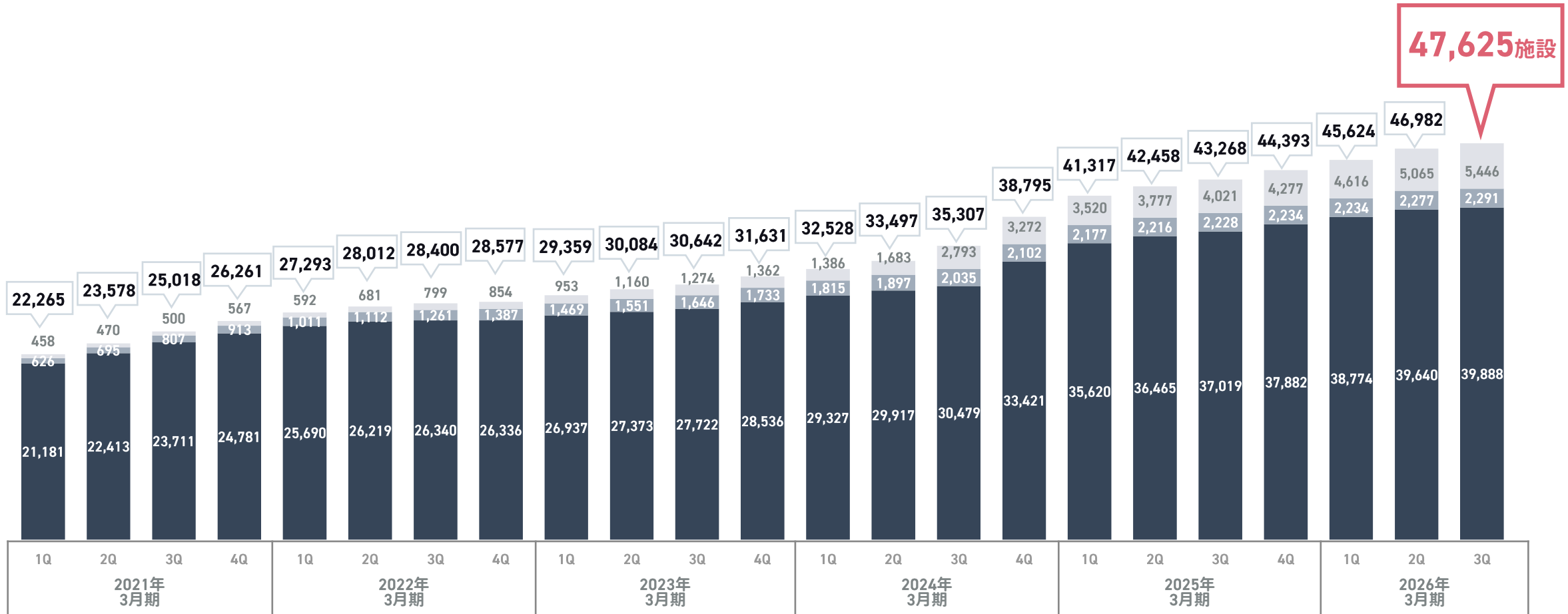


5. 中期経営計画

顧客基盤の拡大

2030年3月期末までに10万施設を目指します。

■ 調剤薬局 ■ 介護施設 ■ 医療機関



くすりの窓口

ヘルスケア領域に新しい価値を提供し、
事業を通じて「社会課題の解決」に貢献する

くすりの窓口グループをご支援賜りますようお願い申し上げます

注意事項

当社の連結決算は日本会計基準を採用しています。

業績予想などを含む本資料は、当社が現時点で入手可能な情報の正確性と、合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は、経済状況の変化や顧客ニーズの変化、または法規制等の変更等、さまざまなリスクや不確定な要因により異なる可能性があります。その達成を約束するものではありません。

IRに関するお問い合わせ

株式会社くすりの窓口 管理本部IR担当

E_mail

ir@kusurinomadoguchi.co.jp

IR サイト

<https://kusurinomadoguchi.co.jp/ir/>